

< 参考資料 3 >

騒音・低周波音に対する苦情の状況

環境省が、全国の風力発電事業者、都道府県に対しアンケート調査を実施した結果より

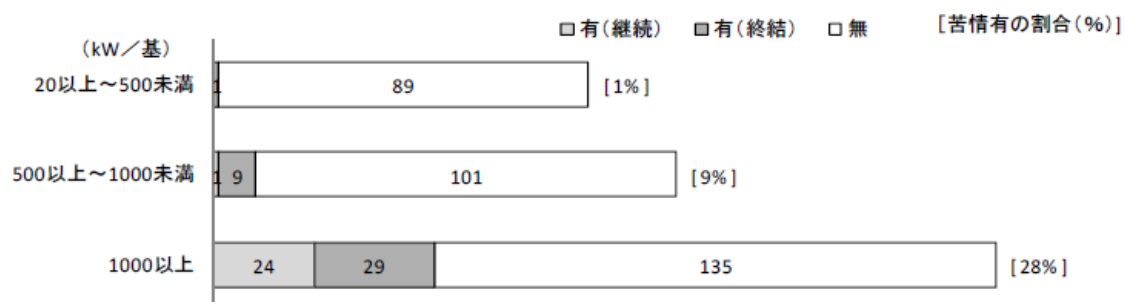
調査方法

- 調査対象 平成 22 年 4 月 1 日現在稼働中の自家用・売電事業用の風力発電所であって、総出力が 20kW 以上のもの
- 調査の方法 設置事業者および施設が設置してある都道府県にアンケート調査票を送付して実施
- 回答 389 か所の風力発電所から回答（送付数の記載なし）

調査結果

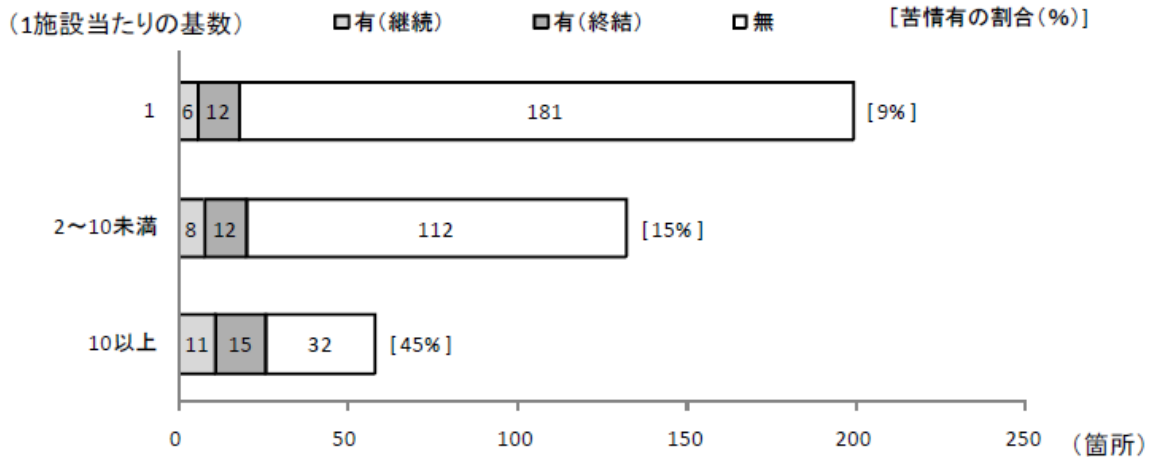
(1) 定格出力別の苦情の状況

風力発電設備の定格出力が大きくなるほど苦情等の発生割合が高くなっている。1,000kW 以上では53 か所で苦情等が発生しており、そのうち24 か所で苦情等が継続している。



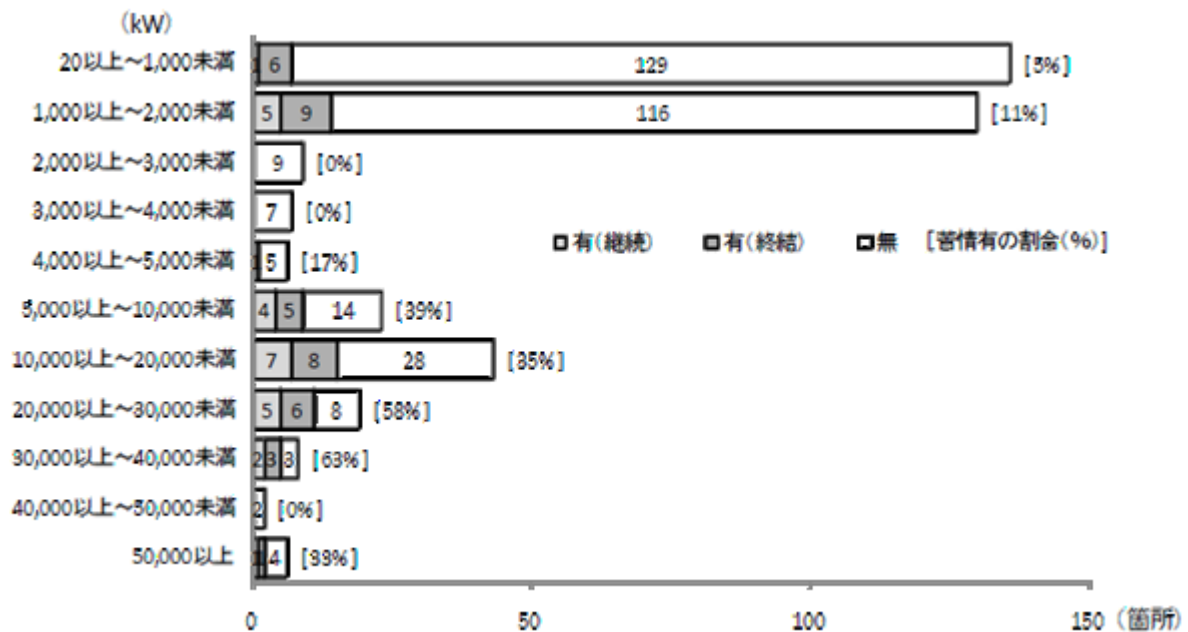
(2) 設備設置基数別の苦情の状況

風力発電設備の設置基数が多くなるほど苦情等の発生割合が高くなっている。
10基以上設置している風力発電所では45%の風力発電所で苦情等が発生している。



(3) 総出力別の苦情の状況

総出力が5,000kW以上の風力発電所で苦情等の発生割合が高くなっている。



出典：環境省報道発表資料「風力発電施設に係る騒音・低周波音の実態把握調査」について
(お知らせ)

<http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=13011>